

安全・安心で暮らしやすい住まい方(家庭内事故)

◆目標

・家族の安全を考えた住空間の整え方について、住空間での問題に気づき、実際の解決方法を知ること、安全で安心な暮らしやすい住まい方について理解する。特に高齢者にとってどうか考え、知る

◆授業の流れ(50分)

時間	内容	詳細	備考
1分	挨拶	講師紹介・本日の流れ 安全・安心で暮らしやすい住まい方	
2分	導入:家庭内事故と原因	授業のテーマ「高齢者にとって住まいの中や暮らしの中で不便なところ・不都合なところについて考え、対策を知る」 ・家庭内事故の死亡データを知り、身体機能・年齢の違いによって、家の中に危険があることを認識・確認する ・家庭内事故による死者の方が交通事故でなくなる方より多い	
2分	・身体機能の違い・変化について	・身体のサイズだけでなく、身体機能の違いや変化が影響することを確認 ①加齢による変化(赤ちゃん→お年寄り) ②個人の身体機能の違い (妊娠している、背の高低、怪我をしている、視力、聴力、車いす など) ・様々な立場の人について考える 家庭内事故の多い幼児、高齢者以外に、妊婦、けがをしたときなど、身体機能での違い・機能変化した時の問題などについて、家族のこと・自分のことと合わせて考える	PPT
18分	①どんな人にとって(高齢者) ②どんなところが? ③その対策は?	・それぞれの立場で不便なところ・不都合のある場所を見つけ、対策を併せて考える。 または、知っていることを教え合う。 ・ワークシートに記入	ワークシート
10分	・考えたことを発表	・ワークシートの、②どんなところが?③その対策は?を生徒に発表してもらいながら進める	ワークシート
6分	・住まいの中の対策について	・住まいの中での対策について、具体事例を紹介(浴室・洗面所、トイレ、玄関、廊下・階段、ちょっとした段差、その他) ・発表内容・家の中で工夫していることを受けて、事例紹介	PPT
4分	・バリアフリーとユニバーサルデザインの紹介	・それぞれの考え方の違いを紹介 →ある特定の人が対象⇔すべての人が対象 ・ユニバーサルデザインの事例を簡単に紹介 ・まちや建物だけでなく、もの、しくみ、サービスなども対象であることを押さえる。	PPT

		<p>・身近な事例紹介 シャンプー・リンス、牛乳、物差し、リモコン (時間があれば、街の中の UD・建物等の工夫例についても紹介)</p>	
2分	<まとめ>	<p>・身体機能の変化や違いによって使いやすさ、暮らしやすさは違うので、それらに対応した工夫をすることも大切。 ・物の整理・整頓や清掃をすることで、安全性や心地よさも向上する。 (逆に使い方を誤れば、不便になったり、危険になったりする。) ・誰にでも安全に暮らせる道具・家具・空間があることを知る</p>	ワークシート
5分	ワークシートの記述	<p>*感想を記述する時間を持つようにする。</p>	